

小体研 保健領域部 第15回 記録

参加者 西澤、藤原、浮津、大竹、中島、綿貫、鈴木、丸田、西尾、須山、川邊、浮津、
増渕、見城、玉置

1 研究報告書検討

修正内容

- ・ 不要な文言の削除
- ・ 内容の整合性
- ・ 初見の人でもわかりやすい書き方
- ・ 本時について（2パターンの示し方、ねらい等）
- ・ 「やってみる」という活動を通しての成果や課題 等

2 次回について

- ・ 2/9 にオンライン会議。
- ・ 2/26 は研究発表会をオンラインでやるという話が出ている。
- ・ 宿題は研究報告書の修正。修正して名前（修正版とか）を付けて今回のフォルダに入れる。

次回は正副部長会の報告と2/26について示されると思うので保健部としてどうするかを検討していく。山内先生からいただいた資料はドライブを確認すること。

3 常任委員の先生方より

浮津先生

これまでの保健から柔軟な学習過程になっていることが売りになっている。ここで成果と課題をみつめられていないと次年度に繋がっていかない。それらが資料で見えてくるとよい。初見で見た人もわかるまとめ方になっているとよい。

藤原先生

各部からいただいた意見でも「やってみる」という活動が良いとでている。課題を見出すうえで有効だったということ。今後どのように整理していくか。今年やってきたことを検証し繋げていくことが大切。

西澤先生

このような状況の中で、今年は不完全燃焼だっと思うが、来年につながる研究のまとめになるよう知恵を出し合い頑張りましょう。